

第 545 回外環連合会議

と き 2017 年 5 月 7 日 (日) 午後 1:30~3:30

ところ 菅野公民館 (菅野)

I. 活動日誌

2 月 5 日 第 542 回外環連合会議

3 月 12 日 第 543 回連合会議中止

28 日 第 3 回北下遺跡保存活用検討委員会

4 月 2 日 第 544 回外環連合会議

12 日 道路全国連首都圏幹事会

23 日 文化財保存全国協議会関東委員会

28 日 市川市議会外環対策特別委員会・協議会

5 月 2 日 岡田幸子県議と面談

予定

6 月 7 日 公害被害者総行動・国土交通省交渉

7 月 29 日 道路全国連幹事会 (名古屋)

II. 報告事項

(1) 平成 29 年度国道 298 号事業予算について 事業費 241 億 8900 万円 (消費税含む)

全体事業費 5,403 億円 (5,635 億円) () は消費税込み

平成 25 年事業再評価時残事業費 765 億円

平成 26 年度以降事業費の推移

	計画	実際の予算
26 年度	171.92 億円	144.44 億円 (156.00 億円)
27 年度	281.24	255.46 (275.90)
28 年度	155.32	307.43 (332.03)
		補正 10.64 (11.50)
29 年度	156.32	223.97 (241.89)
計	765.431 億円	941.94 億円

事業費合計が 180 億円程度超過

平成 28 年事業評価は省略されている

参考

高速部平成 26 年度事業再評価 (三郷~高谷)

全事業費 9,583 億円 残事業費 4,052 億円

事業計画

27 年 1,805 億円

28 年 772

29 年 1,460

高速部は今年事業再評価

(2) 遺跡関係

雷下遺跡出土の国内最古丸木舟の保存活用

その他出土物の保存法

遺跡の表示、残存遺跡の保護

(3) 道路全国連首都圏幹事会

国土交通省交渉の要請内容の検討

個別道路の問題点とは別に将来交通需要予測およびB/C評価の見直しについて申し入れる
平成17年交通センサスに基づく将来交通需要予測および便益評価は過大な評価で不適當
それによるB/C評価が多少1を超えたとしても道路の必要性の根拠にはなり得ない。
全国の建設中や建設を予定している道路について早急に平成27年交通センサスに基づく
B/Cの見直しを行うことと

B/Cが2.0以下の道路事業は見直しによって、確実に1を超えることが確認されるまで事業を凍結すること

(4) 各地区報告

(5) その他

国分地区の地盤沈下について

III. 協議事項

(1) 署名運動

全国公害被害者総行動「なくせ公害・守ろう地球環境」

川崎公害病患者と家族の会「大気汚染によるぜん息等の患者の医療費助成を求める署名」

(2) 第43回道路全国連交流集会開催計画

4月を目途に会場決定、実行委員会立ち上げが遅れている

6月7日の道路全国連幹事会で進行状況報告 日程、会場、特別講演

11月11日～12日 千葉商大を第一候補

(仮題) 環境アセスメントの現状と課題 千葉商大学長 原科幸夫 (予定)

宿泊の確保 30名程度

原科先生(千葉商大)に連絡中 「しばらく対応法を考えさせてもらいたい」

(3) 供用開始差し止め訴訟

申立書の骨子、申立書の構成については報告済み

環境影響評価時の保全目標が達成されるよう騒音対策の抜本的な見直しながされるまで供用開始を差し止めるように

文章化が遅れている

(4) 次回以降

546回 6月4日 平田

547回 7月2日 松戸